

無線電信法案特別委員會議事速記第一號

委員氏名

委員長

伯爵奧平 昌恭君

副委員長

男爵有地品之允君

委員

侯爵中御門經恭君

子爵井上匡四郎君

小松謙次郎君

男爵肝付 兼行君

藤田 四郎君

磯部 四郎君

尼崎伊三郎君

大正四年五月三十一日(月曜日)午前十時十七分開會

○委員長(伯爵奧平昌恭君) ソレデハ次官が御出席ニナリマシタカラ、是カラ本案ノ會議ヲ開クコトニ致シマス

○政府委員(湯河元臣君) 大臣ハ追ッテ參リマスガ、大體ノ御話ヲ申上ケテ御參考

ニ供シタイと思ヒマス、尙ホ技術等ニ涉リマシテ御尋ニナリマス爲ニ、技術家モ居リマス

カラ直チニ其方カラ説明ヲ致スコトニ致シマス、無線電信ト申シマスモノハ御承知ノ如ク

ニ有線電信ト異ッテ、一種獨得ノ長所ヲ有ッテ居リマス電氣通信法ノ一種デゴザイマシ

テ、西曆二十世紀ノ初頭ニ於キマシテ世界ノ重モナル國々ガ爭フテ此研究ニ從事致シ

マスヤウニ相成ッテ、日本ニ於キマシテモ此調査研究ニ從事イタシテ、ソレデ學理上ノ研

究竝ニ機械ノ改良等ニ付キマシテ色々苦心ヲ致シタ次第デアリマシテ、ソレヨリ以來之

ニ關スル發明工風ヲ致シタコトモ尠クナイノデゴザイマス、日本ノ無線電信ノ法式ハ世

界ノ法式ト比シテ格別ノ遜色ヲ見ナイト云フコトニ 相成ッテ居リマス、現在ノ情況ハ如

何デアルカト云フコトニ付イテ大體申上ゲマスレバ、日本ニ於キマシテ無線電信ノ事業ヲ

經營イタシマシタノハ、明治二十九年ニ於キマシテ獨逸ノ柏林ニ於キマシテ、第一回ノ

國際無線電信ノ條約ヲ締結セラレマシテ、之ニ基キマシテ實施イタシマシタノハ、四十

年デゴザイマス、其創業當時ニ於キマシテハ海岸局ヲ五局、船舶局ヲ十局、併セテ十五

箇所設置イタシマシテ、サウシテ亞米利加航路ニ從事スルモノニ船舶局ヲ置クト云フ情

態デゴザイマス爾來局數モ増加イタシマシテ今日ニ於キマシテハ海岸局ハ八局、船舶局五

二局合セテ六十箇所ニ達シマシテ、約四倍ホドノ發達ヲ致シテ參リマシタ、其船舶局ノ

設ケテアリマスル航路ハ北米、南米、歐洲、濠洲、其外尙他ノ方面ニモ互ッテ居リマシ

テ、是等ノ無線電信局ニ於キマシテ取扱ヒマシタ電報ノ數モ次第ニ殖エテ參リマシテ一

箇年約八萬餘通ト云フ狀況ニナリマシタ、此外海軍ノ艦船ニ於キマシテ無線電信ヲ

澤山設置イタシマシテ、ナカノ、此無線電信ノ使用ト云フモノハ海上通信機關トシテ

非常ノ成績ヲ顯ハシテ居ル有様デアリマス、此ノ如キ狀況デアリマスガ、故ニ平時ニ於テ

モ勿論デアリマスガ、殊ニ戰役ノ場合ニ於キマシテハ目前皆方方御承知ノ通り非常

ニ其效果ヲ顯ハシテ居リマスガ故ニ各國トモ此無線電信ノ使用ト云フコトニ付テハ非常

ニ注意ヲ拂フコトニ相成リマシテ、ソコデ曩ニ第一回國際無線電信會議ト云フモノヲ倫

敦ニ開キマシテ、明治四十五年ノ七月デゴザイマスガ、其時新ニ國際ノ通信方法竝ニ

料金ナドノ聯絡ニ付キマシテ種々條約ヲ致シマシタノミナラズ、最近大正二年ニ於キマシ

テ倫敦ニ於テ海上生命保全ノコトヲ目的トスル國際會議ガゴザイマシタ時ニ、矢張り此

船舶ノ上ニ於テ人命財產ノ保全ノ爲ニ五十人以上乗込シテ居ル船ニ無線電信ノ裝

置ヲ強制スルコトニ相成ッテ參リマシテ、是等ノ關係ガ更ニ無線電信ノ使用ト云フコト

ニ一段ノ進歩ヲ告ケルヤウナ狀況ニナッテ參リマシタ、所ガ日本ノ唯今無線電信ノ制度

ト申シマスモノハ公衆ノ通信ト云フコトヲ目的ト致シマスル制度デゴザイマスカラ、船舶

局ヲ設ケマスル必要ヲ認メナイ所ノ船又ハ船舶局ヲ設ケル必要ガゴザイマシテモ豫算ノ

關係ニ於キマシテ之ヲ實行スルコトガ出來ナイヤウナル船ニ於キマシテモ外國ノ無線電信

ノ強制ヲ致スト云フヤウナ關係カラドウシテモ其船ガ無線電信ヲ裝置シナケレバナラヌ

云フ問題ガ起ッテ參リマシテ、ソコデ愈々無線電信ヲ廣ク船舶ニ備ヘ付ケナケレバナラヌ

ト云フコトノ必要ガ段々追ッテ參リマシテ、御承知ノ如ク亞米利加ニ於キマシテハ既ニ以

前ヨリ此無線電信強制、内外ノ船舶ニ對シテ是非無線電信ヲ或一定ノ船舶ハ備ヘナ

ケレバナラヌト云フコトニシテ居リマス、英吉利ニ於キマシテハ最近ニ此強制法ヲ制定イ

タシマシテ、其結果ト致シテ英吉利殖民地デゴザイマス、日本ニ最モ密接ナ關係ノゴザ

イマスル香港デゴザイマスモカ或ハ海峽殖民地デアルトカ或ハ印度諸港ト云フ所ニ出入

イタシマスル船舶ハ内外ノ國籍ヲ問ハズ總テ無線電信ノ裝置ヲ必要トスルコトニ不日ナ

ルベキ譯デゴザイマス、ソレデ斯ウ云フ狀況デアリマス所ニ唯今ノ制度ノ無線電信ハ公衆

通信ヲ目的トスル一種ノ公ケノ機關デアルト云フコトニナルト云フコトハ時運ニ伴ハナイ

現象ト云ハナケレバナラヌデアリマス、無線電信ノ規則ノ沿革上カラ申シマス無線電

信ノ私設ト云フモノハ一般ノ電信電話ト同ク元來カラ申セバ或條件ヲ付ケテ或制限

ヲ加ヘマシテ、是モ私設ヲ認メルト云フコトガ適當デアラウト思ハレマスガ、併シ當時ニ於

キマシテ無線電信ヲ私設スル……當時ト申シマスノハ唯今ノ普通ノ電信電話ヲ制定

イタシマスル當時ニ於キマシテハ、ソレ程ニマダ進歩ヲ致シテ居リマセヌデアリマスシ、又

此私設ヲ許シマスル條件等ニ於キマシテ有線電信電話ト無線電信電話ト云フモノハ大

分違ガゴザイマスガ故ニ、關係上今日マダハ私設ヲ認メテ居ラナカッタト云フコトデアリ

マシテ、當時ハ必要ガ無カッタト云フ意味デアナイノデゴザイマス此ノ如キ關係上、今日ノ

無線電信ノ發達ト唯今現在ノ制度ト云フモノハ十分步調ヲ一ニセヌト云フヤウナ譯ニ

ナッテ參リマシタデアリマス、ソレ故ニ此場合ニ無線電信法ヲ制定イタシマシテ、元來

通信機關ト云フモノハ政府ガ統一ニ專掌イタス、專ラ掌ルト云フコトハ是ハ日本

ノ通信制度ノ根本ニナッテ居リマスカラ、其趣旨ニ悖ラナイ範圍ニ於キマシテ船舶其

他交通不便ノ地ニ於ケル無線電信ノ私設ヲ認メルト云フコトニ致シマシテ、無線電信事

業ノ發達ニ伴ヒ、其經營ニ關シマスル事項或ハ通信ノ濫用、弊害ヲ取締リマスルトカ、

又ハ私設者ノ義務違反ニ對スル取締外國船舶ノ日本領海内ニ於ケル日本ノ無線電信

ノ使用制限ノコトニ付キマシテ、此無線電信法ノ制定ヲ必要トスル譯ニナッテ參リマシタ

デアリマス、ソレカラ取締ノ方法等ニ付キマシテモ此無線電信有線電信ニ比ベマス

或ハ濫用デアルトカ其他ノ弊害ヲ發見スルト云フヤウナコトガ大部分イコトデゴザイマス

ル

ガ故ニ、刑罰規定ナド付キマシテハ一面ハ新刑法ノ規定ニ照シ一面ハ右等無線電信ノ濫用ノ結果社會ニ及ボス影響ノ大ナルコトヲ考ヘマシテ慎重ニ調査ヲシ或ハ主管ノ局ト協議ヲ致シマシテ制定ヲ致シ次第アリマス、尙無線電信ノ如キ此法ニ依ッテ監督イタス譯デゴザイマスガ、此無線電信ノ仕事ハ無線電信ニ比ベマストマダソコマデ參ッテ居ラヌノデアリマス、併ナガラ段々實驗ノ歩ヲ進メマシテ成績ガ良好デゴザイマシテ、現ニ鳥羽ト神島ト申シマス伊勢灣ノ中央ニゴザイマス約十二哩ノ所デ之ヲ實驗ノニ使用イタシテ居リマシテ、其效果ハ十分ニ實際使用サレルコトニナッテ居リマス、是モ唯今直グニ之ヲ一般公衆ノ爲ニ使フコトヲ行キマセヌカ知レマセヌガ、日ナラズシテ、其域ニ達スルコトハ明カデアラウト思ヒマス、併セテ此本法中ニ無線電信ノコトノ取締モ規定シテアリマス、大體右様ノ次第デアリマスカラドウゾ十分御審議ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ色々此無線電信、無線電話ノコトニ付キマシテハ全ク新シイ研究ノ結果デゴザイマスカラ、此技術等ニ付テノ御尋モゴザイマセウカト思ヒマシテ、專門技術家ヲ此處ヘ連レテ參ッテ居リマスカラ、ソレ等ノ御尋ネガゴザイマシタラ、委員長ノ御許シヲ受ケテ、其者カラ直接御説明ヲ申上ゲタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○男爵肝付兼行君 技術上ノ事デ二三御尋ネシタイコトガゴザイマス

○委員長(伯爵奥平昌恭君) 宜シウゴザイマス

○男爵肝付兼行君 御尋ネ致シマスガ、二ツバカリアルノデス、一ツ斯ウ云フコトガアルモノカ無イモノカ、自分ハ決シテ……懸念ニ堪ヘヌカラ伺フデアリマス、近頃飛行機デスガナ、飛行機デ妨ゲスルト随分妨ゲガ出來ヤウト自分ニハ思ハレルノデス、飛行機ト云フモノハサウ重イ物ハ載セラレナイ、何レ中ヘ電機ヲ裝置スル、他ノ電氣ヨリ強力ナ電氣ガ無線電信ニ要ルト云フカラ、其意味ガ許サヌヤ、随分歐羅巴デハ重イ彈丸ヲ載セテ飛行シヨルヤウデアリマス、到底ソナコトハ出來ナイト云フナラバ宜イガ、無線電信ナリ、電話ナリ機械ヲ飛行機ニ是ガ積ムコトガ出來ルモノトスレバ妨ゲルト思ヒマス、十分イタヅラガ出來ルデスガ、ソナ心配ハナイモノデセウカ、是ガ一ツ、ソレカラモウ一ツハ……其心配ガアルヤ否ヤト、モウ一ツハソナ物ハ載セラレナイ、重イ物デ、飛行機ニ無線電信ニ備ヘル物ハ載セラレナイ、所ガ載セラレナクテモ、随分遠クデモエライ音ガスル、其空氣ヲ回ハシテ居ルノハエライモノデス、不斷ハソナコトハナイ、主ニ戰時デアリマスガ、妨ゲラヤルト云フ精神カラ行クト電波ガ八方ヘ行ク、コ、ニ一ツ、此處ノ間ヲ通信シヤウト云ヘバ彼方此方ニ行ク、空氣ヲ方々ヘラレタ日ニハ随分妨ゲルトコトガ出來ヤウト思ヒマスガ、幾ラ妨ゲテモ心配ガナイト云フモノカドウカト云フノデスナ、餘リ重サナルカラ、其二ツダケ伺ッテ置キマセウ

○政府委員(湯川元臣君) 技術上ノ事デゴザイマスカラ唯今技師ガ御答ヲ致シマス

○説明員(佐伯美津留君) チョト私カラ申上ゲマス、唯今デハ歐米諸國デ飛行機ニ無線電信ヲ裝置シテヤッテ居ルサウデゴザイマス、本邦デモ、直接見聞シタ譯デハアリマセヌガ、海軍デハヤッテ居ルト云フコトデアリマス、陸軍デモ先般實地試驗ヲヤッテサウデゴザイマス、是ハ將來必ズ飛行機ニ普ク用井ラレル時代ガ間モナク逢著スルデアラウト思ッテ居リマス、妨害ニ付キマシテハ相當ニ無線電信局ニ近ヅイテ參ッテ電波ヲ發射シマスルト云フト、随分商業用無線電信局等ハ妨害ヲ受ケルカモ知レマセヌガ、普通ハ餘リ大キナ仕掛

ノ無線電信機ヲ裝置スルコトガ出來ナイ爲ニ遠距離ニ達シナイノガ多イノデアリマス、先ツ唯今ノ所デハ漸ク五六十里位ノ見當デアラウト思ッテ居リマス、ソレガ五六十里ノ近所ニヤッテ來テ妨害ヲスレバ随分通信省アタリノ商業用無線電信モ妨害ヲ受ケルカモ知レナイト思ヒマスガ、平時ニ於キマシテハサウ大シタ事モナカラウカト考ヘマス、軍事上ニ於キマシテハサウ云フ妨害ハ多クアリマセウカト思ヒマス

○男爵肝付兼行君 一方ノ、モウ一ツガ宜シイカ……續キデスガ、モウ一ツ、機械ハ裝置シナイデモ、唯空氣デケテ妨ゲニナラヌモノカト云フコトヲ……

○説明員(佐伯美津留君) アレハ大シタコトハアリマセヌ、無線電信ハ室内デ業務ヲ扱ッテ居リマスカラ、外部デ大キナ音ガシテモ室内デツレバ防禦スル方法ガゴザイマスカラ、格別害ニナルマイカト思ッテ居リマス

○男爵肝付兼行君 今度一ツ技術上デナイコトヲ伺ヒマスガ、今ノ御説明ニ依リマス、ドウモ妨害ハ出來得ルモノト信ジテ宜イヤウニ思ハレマスガ、此際……出ルノハ主モニ戰時ノコトト思ヒマスガ、此際別段サウ云フ關係ニ及ボサヌデ差支ナイモノデゴザイマセウカ、チョット……

○政府委員(田中次郎君) 通信ノ妨害ニ付キマシテハ此處ニ取締規定ヲ設ケテアリスノデアリマス

○男爵肝付兼行君 妨害シタ者ヲソレデ處分スルコトガ出來レバ宜イノデス

○政府委員(田中次郎君) 二十五條デ如何ナル妨害ト雖モ取締スル積リデゴザイマス、事實上ノ取締ハ、謂ハユル犯則者ガアリマシタ場合ニ如何ニシテ逮捕スルカト云フコトニナルト、全ク逮捕スル機會ガ、御話ノヤウニ飛行機デモ持ッテ行カナケレバ出來ナイヤウナ次第デアリマスカラ、著陸スルノヲ待ッテスルト云フ手段ヲ執ルノ外ハアルマイト思ヒマス

○藤田四郎君 其話ニ關聯シテ居リマスカラ御尋ネシテ置キタイト思ヒマス、戰時ノ如キニ至ッテハハマア、随分ソナ事デモヤリマセウガ、仕方モアリマスマイガ、承ハル所デハ獨逸ナドデハ佛蘭西ノ電信ト云フモノヲ盜ム爲ニ非常ニ大キナ無線電信ノ機械ヲ裝置シテ、此戰爭ノ初メニ大抵電信ヲ皆獨逸ガ先キニ盜ンデ、佛蘭西デハチットモ取レナクダ、佛蘭西ノ電信ヲ皆獨逸デ取ッテ仕舞ッタ、大キナル、強大ナル電機修機カ何カ置クノデゴザイマセウ、デ四十二年ノ伯林ノ條約ナリ、又倫敦デ其後セラレタ會議等ニ於キマシテハ、平時ニ於テノ電信機械ノ制限等ハナイモノデゴザイマセウカ、勝手ニヤッテ置イタラ何處デモ取レルト云フコトニナル、平時ニ於テモ大變利害關係ガアリマスガ、例ヘバ凡ソ何哩ノ距離マデ取ルト云フニハドレ位ニ制限スルカト云フコトハナイモノデゴザイマセウカ、小サイモノト大キナモノガアッテ、大キナ方ニ小サイ方ノ電信ヲ取ラレテ仕舞フト云フ時分ニ、自分ノ方ノ強勢ノ大キナ方デ取ッテ仕舞フト云フヤウナコトニ付イテハ、差支ナイモノデゴザイマスガ

○政府委員(田中次郎君) 御話ノ獨逸ガ戰役ノ初メニ強勢ナル無線電信ヲ裝置シテヤッテ居タト云フコトモ承知シテ居リマス、戰役中ニモ随分ヤッタヤウニ思ハレマス、唯今御話ノヤウナ場合ハ随分有リカネナイコトデアラウト思ヒマスガ、平日ヤリマス通信デハ、國際條約ニ入ッテ居ル國ノ間ニハ、成ルタケ他ノ無線電信ヲ妨害シナイヤウニスル條項

ガアリマス、是ハドレダケノ力デナケレバナラヌト云フ電力ニ付テ一定ノ制限ハ置イテアリ
マセヌガ、船舶其他普通公衆ノ通信ヲ扱フヤツハ、成ルベク「キロワット」位ノ電力デヤ
ルト云フコトノ國際規定ガ出來テ居リマス、電波ノ長サニシテ六百「メートル」若クハ三
百「メートル」ト云フコトガ大體ノ原則デ極ツテ居リマス、併シ又一面ニ勢力強勢ナル無
線電信ヲ置イテ、相當ノ設備ヲヤツテ居ルノハ、獨逸、佛蘭西、英吉利其他大分ヤツテ居
リマス、是等ハ甚シク妨害スレバ國際條約上自ラ抗議ヲ申込ミ得ル譯デゴザイマス
ガ、現在ハ電波ノ長サデ通信ノ自ラ制限ガ出來テ居ルヤウナ次第デゴザイマス、唯強力
ノ無線電信ト雖モ電波ノ長サデ、同シ種類ノ長度ヲ保ツタモノデナケレバ、縱令其附近
ニアツテモ他ノヤウニ妨害ヲ與ヘナイト云フ狀態デアルヤウニ承知シテ居リマス、歐羅巴方
面ノ邦土相接シテ居ル所ト雖モ、果シテ妨害スルモノデアルト云フコトモ聞及ンデ居リマセ
ヌ、併ナガラ有事ノ日ニハ御話ノヤウニ外國ノ無線電信ヲ隨意ニ盜ミ利用スルコトハ隨
分アラウト想像セラレマス、ツレデ本法ニ於キマシテハ外國官憲ニ關スルコトハ總テ條約
ニ依リ、其以外ニ內國製ノ「プロペラー」ヲ實際ヤツテ居リマス

○藤田四郎君 條約ニ加入シテ居リマス

○政府委員(田中次郎君) 加入シテヤツテ居リマス

○藤田四郎君 言葉ハ制限ハ付イテ居リマス

○政府委員(田中次郎君) 言語ハ制限ハアリマセヌ、電信ト同ジデアリマス、全ク他
ノ通信ト同ジデアリマス

○藤田四郎君 サウシマスルト、外國ノ船舶ニ在所ノ電信局モ矢張り日本ニ近イ所
デ發シマスルモノハ、日本海岸ノ近イ所デ受電スルコトニナリマス

○政府委員(田中次郎君) サウデス

○藤田四郎君 サウスルト、代理店ナドノ橫濱ト云フヤウナ所デ受ケルヤウニナリマス

○政府委員(田中次郎君) 皆政府デアリマス

○男爵肝付兼行君 コレハ海カラト云フノハ多イヤウデゴザイマスガ、アチラデハ大陸同
志デヤツテ居ルデセウナ

○政府委員(田中次郎君) ヤツテ居リマス、是ハ獨逸デアフリ加ノ「リベリア」「ト
ーゴ」ト云フヤウナ所ハ強力ナルモノヲ作リマシテ伯林ノ「ナウエン」ト云フ所ト交信シテ
居リマス、是等ハ二千哩近イ距離ト思ヒマスガ、是ハヤツテ居リマス、ツレカラ佛蘭西ノ巴
里ノ一番高イ「エッフェル」塔ノ所デヤツテ居リマス、亞弗利加ノ殖民地デモヤツテ居リマ
ス、亞米利加ノ桑港附近ト華盛頓ノ附近「アーリントン」ナドニハ大分強力ナルモノヲヤツ
テ居ル、大陸ノ西比利亞邊デモ幾ラカヤツテ居ルヤウデアリマス

○藤田四郎君 現今強制權ハ出來テ居リマス、是迄命令ナリ實行力ノ有ル強制
コトハアリマセヌカ、ツレト今御話ニナリマシタ英吉利ノ方デハ五十八人乗組ノモノハ、遞信
大臣モ御話ニナリマシタガアレハ凡ソ何噸位ノ船デアリマス、又英吉利ノ方デハ不日
之ヲ實行スルコトニナルト云フコトデアリマスガ、サウシタナラバ英吉利ノ殖民地ニハ今ノ電
信局ヲ置カヌ所ノ船ハ這入ルコトガ出來ヌヤウニナリマス、現ニ亞米利加ハ強制スルト
云ハバ亞米利加ノ港ニ這入ル五十八人乗組ノ船舶ハ貨物船ト乗組船ト問ハズ、港ニ
這入ル……電信ノ設備ガナケレバ這入レヌコトニナリマス、又英吉利モサウ云フコトニ

ナリマス

○政府委員(田中次郎君) 現在遞信大臣、次官カラモ御話ニナリマシタ通り、電信
法ノ制定サレマシタ當時、省令ヲ以テ「電信法ハ第二條、第三條、第二十八條及第四
十三條ヲ除クノ外之ヲ無線電信ニ準用ス」トサレマシタノデ、第二條ハ私設テ設置スルコ
トヲ認メタ法律デアリマシテ、全ク準用シテ居リマセヌ、無線電信ハ官設以外ハ私設ノ
モノハ存在シテ居リマセヌ、ツレデ本法デ或程度マデ認ムルト云フコトニナツテ居リマス、ツ
レカラ英吉利ノ強制法ノ御話デアリマスガ、英吉利ハ昨年既ニ法律ヲ制定サレマシテ本
年七月一日ヨリ施行スルト云フ條項ニハ載ツテ居リマスケレドモ、施行ノ日取付テハ
改メテ命令ヲスルマデ延バスト云フコトニナツテ居リマシテ、早晚行ハレルコトニナラウト思
ヒマスガ、マダ何日ヨリ實施スルト云フ日取ハ最近外務省カラ受ケマシタ所ノ通知デハ
確定シテ居リマセヌ、ツレデ適用シテ居ルノハ香港新嘉坡トカ其他印度洋方面モ皆這
入ツテ居リマス、是等ハ乗組員五十名以上ノ船ナラバ乘客デアルト海員デアルト問ハズ、
無線電信ヲ付ケナケレバ許サヌト云フコトニナツテ居リマス、噸數等ハ制限ハ無カッタヤ
デアリマス、ハノ數ノ上カラ海上生命保安ト云フ精神カラ參ッヤウデアリマス

○藤田四郎君 五十人ト云フノハ船員デモサウデス

○政府委員(田中次郎君) 船員デモ……

○藤田四郎君 船員ハ五十人デモツレデモ無線電信ヲ設備スルト云フコトハアルマイ
思ヒマス、餘計ノコトカモ知レマセヌガ、乗組員デアリマシヤウ

○政府委員(田中次郎君) 乗組員十人デ御客ハ四十名トシマスレバ五十名デモ付
ケナケレバナリマセヌ

○藤田四郎君 百噸ノ船デモアリマス

○政府委員(田中次郎君) サウデス

○藤田四郎君 亞米利加デモ……

○政府委員(田中次郎君) 亞米利加モサウデアリマス

○藤田四郎君 郵船會社ノ濠洲航路ニ出來テ居リマス

○政府委員(田中次郎君) 濠洲航路ハ全部付ケテ居リマス

○藤田四郎君 ツレデ噸數ハ分リマセヌカ

○政府委員(田中次郎君) 讀ミマセウカ……

○藤田四郎君 外國文ノモノハアリマセヌガ、明日デモ宜シイカラ……

○政府委員(田中次郎君) 承知シマシタ

○藤田四郎君 實ハ私共ハ餘リ能ク分リマセヌガ、今日委員ノ中デ委シク知ツテ居ル
人ハ來マセヌ人モアリマス、ドウカ甚ダ勝手デゴザイマスガ、一條カラ二三條ヅ、御説
明シテ貰ヒタイ、サウシテ吾々ハ智識ヲ備ヘテ居リマスレバ明日容易ニ決議ガ出來ヤウト
思ヒマス

○政府委員(田中次郎君) 私ハ大要申シマスガ、第一條ハ大概御分リデアラウト思
ヒマス、第二條ハチヨット分リ惡クイ點モアルカト思ヒマス、是ハ電信法ヲ差上ゲマス
(電信法ノ印刷物ヲ配布ス)

電信法ノ第二條ニ私設ヲ認メマス範圍ヲ列舉シテ書イデアリマスガ、實ハ大體之ニ擬ラ

ヒテ書イテ見マシヤウナ次第アリマスガ、併シ此無線電信法ハ……

○藤田四郎君 變テ居ル所ダケ願ヒマス、主眼トスル點……

○政府委員(田中次郎君) 主眼ハ遠隔ノ離レ島カ或ハ船舶ニ無線電信ヲ附ケルト云フノガ主眼デヤッテ居リマス、第一ハ……

○藤田四郎君 チョット其所デ御尋ネシテ置キマスガ、私設ノ船ノ建テ居ルノハ官設ノ電報局ナデセウナ

○政府委員(田中次郎君) サウマス、ミシナ官設デス、第一ハ第二條ノ第一號ノ「航行ノ安全ニ備フル目的ヲ以テ船舶ニ施設スルモノ」トアリマスノハ、是ハ主トシテ海上竝ニ湖水等ニ於テ航海ヲシテ行キマス船ガ、其船ノ保安ノ爲ニ附ケルト云フノヲ主眼トシテ施設スル場合ニ許可ヲ得テ許サウ、是ハマア極メテ簡易ナル機械ヲ裝置シマシタラバ、全ク遭難ノ場合トカ、或ハ非常ニ航海ノ暴風警報トカ、其他サウ云フヤウナ航海上ノ安全ヲ保全セシガ爲ニ備附ケルモノデ、一般ニ廣ク行ハレルモノデモアルシ、又極メテ簡易ニ如何ナル場合ニテモ行ハレルモノデアラウト思ヒマス、詰リ第一ハ航行ノ安全ノ爲ニ裝置シタイト云ッテ願出ル場合ニ許ス、第二ハ「同一ノ特定事業ニ用ウル船舶相互間ニ於テ其事業ノ用ニ供スル目的ヲ以テ船舶ニ施設スルモノ」是ハ一人ナリ又ハ數人ニテ或一種ノ事業ヲ營ム船舶ガアルト致シマス、例ヘバ「トロール」組合船アルトカ、或ハ水難救濟ノ船アルトカ、或ハ關釜間ノ連絡船ト申サウナモノデアルトカ、其他捕鯨船トカ、或ハ一定ノ旅客運送ヲ營業トシテ居ル船舶、石炭運送ヲ營業トシテ居ル船舶、サウ云フヤウナ一種ノ特定ノ事業ヲ營ンデ居ル船舶相互間ニ於テ通信スル目的ヲ設ケタイ、是ハ隨分適用ノアルモノデアラウト實ハ考ヘテ居リマス、即チ其營業シテ居ル所ノ事業ノ爲ニ使フト云フノガ本旨ヲ設ケヤウト云フノデ、實ハ大臣竝ニ次官ヨリモ御話ニナリマシタヤウニ、專掌ヲ原則ト致シマスレバ詰リ公衆通信ニ付キマシテハ國家ノ專掌ヲ本規則ト致シマスガ、其傍ラ或程度マデハ私設ヲ認メナケレバ今日ノ實際ニ適應スマイト云フ考デスカラ、餘リ範圍ヲ廣ク致シマス云フコトモ國家トシテ面白クナイ、サラバト云ッテ餘リ窮屈ニスルト云フコトモ、折角ノ目的ニ副ハヌデ徹底シナイ感ヲ致スカラ、矢張り特定ノ事業デ、其事業ノ爲ニ無線電信ガ必要アルト云フ場合ニハ許シテアル、併シツレハ一人ノ經營シテ居ルモノカ、或ハ數人聯合シテ經營シテ居ル事業デナケレバナラヌ、斯ウ云フ考デゴザイマス、ソレカラ第三ノ場合ハ「電報送受ノ爲ニ電信官署ト間ニ施設者ノ專用ニ供スル目的ヲ以テ電信、電話、無線電信又ハ無線電話ニ依ル公衆通信ノ連絡ナキ陸地又ハ船舶ニ施設スルモノ」是ハ丁度電信法ニ書イテ居リマス、電信ノ謂ハユル託送ノ爲ニ連絡シテヤルヤツガアリマスガ、ソレト同一ノ目的デアリマシテ、詰リ不便ノ、例ヘバ離レ島ミタヤウナ所カラ海底線ヲ布クニハ隨分費用モ掛カル、陸地ハ到底布ク譯ニハ行カヌト云フヤウナ島ガアリマスレバ、サウ云フ島カラ政府ノヤッテ居ル無線電信局マデ其電信ヲ是非ヤリタイ、島カラ公衆電報ヲ送ッタイ、或ハ受ケタリスル時分ヤリタイ、船舶デ公衆電報ヲ取扱ッテ送ルノガ主眼デ、謂ハユル政府ノ海岸局等ニ電報ヲ送ル爲ニ船舶ニ附ケテ置キタイト云フ希望モ隨分アラウト思ヒマス、要スルニ是ハ電信局ヨリ電報ヲ送り竝ニ受ケルト云フノガ専ラ主眼デアリマス、其爲ニヤル場合ハ無論許シテアル、是ハ唯今申上ゲマシタヤウニ、離レ島デアルトカ或ハ非常ニ遠隔ナル半

島ノ出ツ張ツ岬ノ鼻デアルトカ云フヤウナ陸地ニハ、相當ニ適用ガ多カラウト思ヒマス、又船舶ニ致シマシテモ、隨分公衆通信ヲ扱ッテ、詰リ託送局マデ電報ヲ送ル必要ガ屢アルニ拘ラズ、何等通信ノ途ガ無イト云フ場合ニハ無線電信ヲ備附ケテ置イテ、局マデ託送スルコトモ出來ルシ、受取ルコトモ出來ル、斯ウ云フ場合ニハ許シテ差支ナイ、是ガ第三、第二條ノ第三ノ圖ヲ御覽ヲ願ヒマス陸地竝ニ船舶ノ場合ヲ指定シテゴザイマス、第四號ニ至リマス「電信、電話、無線電信又ハ無線電話ニ依ル公衆通信ノ連絡ナク前號ノ規定ニ依ルヲ不適當トスル陸地相互間又ハ陸地船舶間ニ於テ同一ノ特定事業ニ用ウル目的ヲ以テ陸地又ハ船舶ニ施設スルモノ」此四號ハ圖ヲ示シマシタヤウニ陸地相互間ノ「イ」ノ場合ハ申上ゲテ見マス、此所ニ圖ニ甲海岸無線局トアリマスガ、海岸無線局ガ此所ニ出來テ居リマス、此局ヘ「エ」ノ局カラ三號ニ依ッテ公衆電報ノ託送ヲヤルコトモ出來マス、又「ビ」ガ無線電信ヲ受ケマスレバ「ビ」カラモ託送スルコトガ出來マス、又「エ」ト「ビ」トノ間ヲ甲海岸局ガ媒介シテ行キマスレバ電報ノ連絡ハ取レマス譯デアリマス、ケレドモ、ソレデハ餘リニ不便極マル場合ガアルノデス、「不適當トスル陸地」ト云フノハ出來ナイコトハナイカモ知レヌガ、強イ電力ヲ使ハヌケレバナラヌシ、餘リニ重複シタ通信ヲ扱フヤウニナッテ不便極マル場合ガアルカラ、「エ」ト「ビ」トノ場合ハ、甲海岸局ガ媒介セヌデ「エ」ト「ビ」トノ間ニ直接ニ許サウデハナイカト云フノデ、陸地相互間ノ場合餘リ過リクドクナルト云フ虞レガアリマス、サウ云フ場合ハ「エ」ト「ビ」トニ許シテ宜カラウ、左ノ方ニ「エ」ト「ビ」ト書イテアリマスノモ同ジ關係デ、デアリマシテ、電信電話ノ連絡ナキト申シマスノハ電信ニシマスレバ直配達區内デナイト云フ意味ニ解釋シテアリマス、電話ニシマスレバ加入區域内デナイ、電話ニシテモ電信ニシテモ加入區域デモナケレバ直配達區内デモナイ、電信ニシテモ電信電話ノ連絡ノナイ土地ト考ヘテ宜イ、サウ云フ土地ノ「エ」ト「ビ」トノ間ニハ是モ同ジク甲ノ海岸局ヲ媒介スレバ出來ナイデアリマセヌケレドモ、餘リニ迂遠極マルヤウナ譯デアリマス、「エ」ト「ビ」ト「デ」ハ直接ニ陸地相互間ニ無線電信ヲ許シタ方ガ宜カラウ、斯ウ云フ場合ハ考ヘテ此所ニ置キマシタ、ソレカラ第二條ノ第四號ノ「ロ」ノ場合、陸地船舶間ニ施設スルモノ、是ハ此所ニ赤イ線ヲ示シテ居リマス、船舶ハ「ビ」ト云フ陸上局間ニ無線電信ヲ許ス「ビ」ニ陸上局ヲ設ケマスレバ、同ジク甲ノ海岸無線局ヲ通ジマシテ「エ」ト云フ船舶間ニ通信ガ出來ヌコトハアリマセヌケレドモ、甲ノ海岸局マデノ距離ガ餘リ遠イト、却ッテ大キイ電力ヲ使ハナケレバナラヌ、裝置モ大キイヤツヲ設ケナケレバナラヌ、却ッテ不便極マル場合ガアラウト思ヒマス、寧ロ「エ」ト「ビ」トノ間ニハ雙方許シテ、船舶ト陸地トカ通信ノ出來ルヤウニシタイ、是ハ重モニ水難救濟ノ船ナダガ其「エ」ノ地點ノ害ヲ主トシテ警戒シテ居ルヤウナ場合ニハ入用デアアルマイカト思ヒマス、又漁業等ニ付テモサウ云フコトガアリハマイカ、或ハ又小サイ「フエリ」ノヤウナモノ、海峡ノ連絡船ト云フヤウナモノニシマス、隨分斯ウ云フ場合ガアリハセヌカト思ヒマス、陸地船舶相互間ニ設ケル場合ヲ包含サシタヤウナ次第デアリマス、是ガ茲ニ第四號ニ書キマシタ本體デアリマシテ、此次ノ第二條三號非認ノ例、第二條四號非認ノ例ト書キマシタノハ何レモ申上ゲマシタ例ニハ當欲ヲナイモノデ、規定以外ニ屬スルモノヲ試ミニ示シタヤウナ次第デアリマス

○藤田四郎君 是ハ許サナイ方デスネ

○政府委員(田中次郎君) ハイ、是ハ何レモ圖デ示シテ置キマシヤウニ兩方トモ直配達區域ニ「エー」ト「ビー」トノ局ガアル、ツレハ一般電信ノ連絡ノアル所デ、別ニサウ云フ密接シタル所デ電信ノ連絡ガアルニ拘ラズ、無線電信ヲ許スト云フコトハシナイ積リデアリマス、又船舶ニ、例ヘバ政府ノ局ガ置イテアル、更ニ私設ノ局ヲ其同一ノ船舶ニ重ネテ許ス場合ハナイト云フコト同一ノ理窟デアリマス、ツレカラ此次ニ第二條、第四號非認ノ例ヲ書キマシタノハ、茲ニ赤イ字デ書イテアル「シー」ト「ディー」ノ間ニ無線電信ヲリタイト云フ願ガ出マシテモ、是ハ許サナイ、ツレハ右ノ方ニアリマス甲ノ有線局ノ直配達區域内ノ「シー」ト「ディー」ト云フ所ト、乙ノ有線局ノ直配達區域内ノ「ディー」ト云フ所、此「シー」ト「ディー」トノ間ニ無線電信ヲ置テ連絡ヲ取リタイト云フ情願ヲシテ参リマシテモ、是ハ甲ノ局ノ直配達區域ト乙ノ局ノ直配達區域デアッテ、此甲ト乙ノ間ノ連絡ハ裏カラ取レテ居ルノデアルカラ、此「シー」ト「ディー」トノ間ニ無線電信ハ許サナイ、斯ウ云フ譯デアリマス、ツレカラ第五ハ是ハ文字ニ書イテアリマス通リデアリマス、是ハ學術研究カラ斯ウ云フモノヲ一々許可ヲ得ルト云フコトハ要ラヌデハナイカト云フコトモアリマスガ、先刻來御話ノアリマスヤウニ無線電信ハ何レノ地點ニ於テモ一旦施設スルト、ソコカラ倫ミ聽キヲスルコトガ出來ルカラ、矢張り實驗用ト雖モ相當ノ手續ヲサシテ、ドコニドウニ云フヤウナモノガ存在シテ居ルト云フコトハ矢張り監督官廳デ承認シテ置ク必要ガアリマスカラ之ヲ書キマシタノデアリマス、第六號ハ前各號ノ外主務大臣ニ於テ特ニ施設ノ必要アリト認メタルモノ、極ク概括的ノモノヲ書キマシタノデスガ、之ハ無線電信ト云フモノハ日進月歩、益々發達シテ行キマスルシ、唯今肝付サンカラ御話ノアリマシタヤウニ空中飛行機ニモ將來付ケルニ違ヒナイ、又汽車ナドニモ付ケルヤウニナルカ知ラヌ、或ハ携帯上ニモ簡易ナモノガ出來ヌトモ限ラヌ、サウ云フコトニモナリハセヌカト考ヘマシタカラ、茲ニ廣ク書イテ置イタノデアリマスガ、重モニ飛行機ナドノ場合ヲ考ヘタノデアリマス、大體二條ハツレデアリマス

○藤田四郎君 今ノ御説明デ大分分リマシタガ、モウ一ツ分ラヌ所ガアリマスガ、例ヘバ郵船會社ノ船同士間トカ或ハ商船會社ノ船同士間トカ或ハ東洋汽船ノ船同士間トカ云フ、是ニハ官設ノ電信局ガアルカラ、此ニハ這入ラナイ、斯ウ云フコトニナリマスガ

○政府委員(田中次郎君) 今官設ニシテ居リマスノニハ恐ラク私設ノ必要ハナカラウト考ヘマスガ、サウデナイ例ヘバ郵船會社ノ船相互間、商船會社ノ船相互間、東洋汽船會社ノ船相互間ト云フヤウナモノハ第二條ニ這入ル積リデアリマス

○藤田四郎君 サウスルト、先刻承ツタ郵船會社ノ定期航海ノ船トカ、サウ云フモノハ官設ノヤウニ承ツテ居リマスガ、矢張り私設ノ方ニナルノデスカ

○政府委員(田中次郎君) ツレハ官設ヲ置イテアリマスノニハ改メテ私設ヲ許ス必要ハアルマイト考ヘマスガ、例ヘバ郵船會社ノ船ガ北清航路ヲ開ク、其船ニ入用デアルト考ヘマシタナラバ第一ニ依リ得ルコトト考ヘマス

○藤田四郎君 官設ノ置イテアル船ノ經費ハドコカラ出マスカ

○政府委員(田中次郎君) 官設ノ置イテアリマスル、其經費ハ吏員ノ給料デアリマスル、是ハ政府ガ出シテ居リマス

○藤田四郎君 サウシマスルト、此法律ノヤウナモノガ出來マシテ、又英吉利ナドノ規定ガ出マスル以上ハ、凡ソ五十人乗組ミノ船ハ殆ド皆ヤルト云フコトニナレバ是ハ皆政府デ其吏員ヲ置カケレバナラヌト云フコトニナリハシマスマイカ

○政府委員(田中次郎君) 英吉利ノ關係デ設ケマスノハ、多クハ此印度方面ヘ行キマス貨物船トカ香港新嘉坡ヘ行キマス小サイ旅客船ノヤウナモノハ私設デ設ケマス、ツレハ汽船會社或ハ船舶主ノ方ノ從事員ガスルトニナリマス、政府ノ方デ置キマスモノハ政府ノ給料ヲ受ケル從事員ガスルトニナリマス、茲ニ舉ゲマシタノハ總テ私設ノ從事員デアリマス

○藤田四郎君 私ノ質問シタ趣意ヲ御了解下サラヌト思ヒマスガ、是ハ外國トノ條約ニモ關係シテ又其他種々ノ關係カラ無線電信ヲ船ニ裝置シナケレバナラヌコトニナル、此規定ハ五十人以上ノ乗組ト云フヤウナコトニナルト、日本ノ船ハ外國ヘ行ク以上ハ總テ私設ノモノヲ立テナケレバナラヌ、ツレモ大キナ船ハ官設デ出來テ居ルカラ仕合セデアル、小サナモノハ總テ此義務ヲ以テ立テナケレバナラヌト云フ、義務ヲ負フコトニハナリマスマイカ

○政府委員(田中次郎君) 日本全體デハ隨分船モ多數アルヤウデスガ、是ニ關シテ取調ベマシタ所ノ船ハ先ヅ四五十隻内外ト見當ラ付ケテ居リマスガ、即チ斯ウ云フ裝置ヲ特ニシナケレバナラヌ必要ガアルモノハ、先ヅ今日ノ所デ四五十隻ト見テ居リマスガ、ツレモ政府ガ官設局ヲ置クベキ必要ヲ認メタルモノハ政府デ置キマスガ、大キナ貨物船トカ旅客ノ極ク少イヤウナモノハ、是ハ御話ノヤウニ船舶主ガ嫌デモ自分デ設ケナケレバ香港新嘉坡ヘ行クコトガ出來ヌコトニナル是ハ英吉利ノ法律ノ結果デサウナリマス

○藤田四郎君 サウシマスルト、大キナ諸カ船ハ官設電信局ヲ置イテ吳レル、諸カラヌ船ハ自分デアラナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマスガ

○政府委員(田中次郎君) 實ハ今、無線電信ハ政府デモ一向儲カテ居リマセヌ、隨分經費ハ割ニ掛リマスガ、中々斯ウ云フ通信デ手数料ガ多ク這入ルト云フ譯ニハ參リマセヌ、先ヅ計算シテ見マス、隨分年々支出ノ方ガ收入ヨリモ多イト云フ方デアリマシテ、船舶ノ上カラ云ヒマス英吉利ノ法律ノ結果デアリマスガ、イヤデモ附ケナケレバナラヌト云フコトニナリマス、可ナリノ負擔ヲ負ハナケレバナラヌコトデアリマス、ツレカラ一面カラ人命財産ノ保安トカ云フコトカラ考ヘマス、多少ノ失費ハ免レヌコトト考ヘマス

○藤田四郎君 私ノ懸念シマスノハ郵船會社ノ官設ノ局トカ東洋汽船ノ官設局トカ云フモノヨリハ、補助ヲ受ケナイ會社ニ官設局ヲ置イテアル方ガ必要ニナリハシマスマイカト思ヒマスガ……

○政府委員(田中次郎君) 其點ハドウ云フ風ニ將來經理シテ行ク方ガ都合ガ宜シウゴザイマスガ、マダツレ等ノ點ハ實ハ御返事ハ致シ難ウゴザイマス

○藤田四郎君 モウ既ニ七月一日カラ英吉利ハ行フト殆ド對岸ノ商賣ノアリサウナ所デアルト、既ニ斯ウ云フ規定ヲ受ケナケレバナラヌ、此法律ハ勅令ヲ以テ期日ハ定マルト云フコトニナッテ居ッテ、運用スルニハエライ困難ナク行ケルカ知レマセヌガ、此點ハ政府デスラモ儲カラヌト言ハレテ居ル、其點ハ貨物船ハ五十人ハ乗組マナイカ知レマセヌガ、或ハ數千噸トカ云フヤウナ大キナ船デアルト、乗組員デ五十人以上ハ居ルトカ云フヤウナモノ

ヲ幾ラモ「チャーター」スルトカシテ、商賣上ノ關係カラ常ニ南洋方面ニ行クモノデアルカラ、殆ド難破ノ外ハ英吉利廻リノ港ニ這入ルコトガ出來ナイト云フコトニナルト困難デハナイカ、或ハサウ云フ必要ノモノナラバ或場合ニハ實行ヲ猶豫スルコトモ必要アリハシマスマイカ

○政府委員(田中次郎君) 唯今ノ御懸念ハ御尤モデアリマスガ、英吉利ノ七月一日ト云フハ條文ガ出來テ居リマスガ、愈々實施スルト云フ期日ハ更ニ命令決定メルト云フコトニナツテ居リマス、マダハツキリ期日ハ決マツテ居ラヌト云フコトヲ最近外務省カラ發表サレテ居リマス、相當ノ猶豫ハ無論アルコト、思ヒマス、又無線電信ノ從事員ノ養成カラ見マシテモ、固ヨリ海軍アタリテ相當ニ從事シテ居ラレルカ、サウデナイト新シク雇入レナケレバナリマセヌノデ、是モ三四箇月ヲ要スルコトデアリマスガ、若シ私設ノ許可ヲ得テアル人ガ随分多クナルト、ツレ等ノ點モ出來ルダケ便宜ヲ計ツテ養成シテヤルト云フコトヲ考ヘテ居リマス、又香港、新嘉坡其邊ニ參リマス船デ五十人以内ニ乗組員ヲ隨分制限シテ置イタラ宜カラウト云フ船主モ可ナリアルヤウデゴザイマスガ、マア實際七八十名モ居ルドウシテモ五十人以下ニ減ズルコトノ出來ナイ船ハ、相當ノ程度ノ無線電信ヲ備附ケナケレバナラヌト思ヒマス

○政府委員(湯河元臣君) チョット藤田サニ申上ゲテ置キマスガ、此處ヘ出シテアル無線電信法ハ向フカラ願ツテ來タヤツヤアルデアリマス、コツチカラ強制スルト云フコトハ別ノ問題デアリマシテ、此方ハ船ノ公海ノ運轉トカ或ハ國際條約ノ關係カラ政府ノ方デモ是非備附ケナケレバナラヌト云フコトハ要セヌモノト思ヒマス、此方ハ船主ノ方カラ自分ノ便宜ニ置イテ貰フ、私設ヲ許可シテ貰フ、其處ノ點一ツデアリマス

○藤田四郎君 能ク了解シテ居リマスデアリマス、唯斯ウ云フ法律ガ出來マスレバ英吉利ナリカラ、オ前ノ方ノ船ハ困ルデヤナイカ、オ前ノ方ニハ法律ガアルデヤナイカ、ツレノ規定ヲ受ケルデヤナイカ、斯ウ云フコトハ言ヒ得ラレルデアラウト思ヒマス、ツレデ御尋シタノデアリマス、詰リ困ラヌ方ニナレバ宜イト云フ、此法律ヲ惡ルイト云フ意味デ申スノデハアリマセヌカラ、其處ヲ一ツドウカ……

○磯部四郎君 別ニ何モアリマセヌガ、チョット承リタイト思ヒマスガ、目的ヲ皆制限シテアル、第一デモ第二デモ第三デモ、是ノ目的、是ノ目的ト云フコトガ制限シテアリマスガ、ソコデハ第一承リタイノハ、ドウシテ斯ウ云フ窮乏ニ制限セネバナラヌカト云フコトガ一ツト、制限ヲ超エタキニハ制裁ガアルヤウデスガ、其制裁モ随分酷ナヤウニ認メマスガ、其理由ヲ伺ヒマス

○政府委員(田中次郎君) 御尤モ御尋ト考ヘマスガ、是ハ有線電信ノ……茲ニアリマス三十二年ニ出來マシタ有線電信法デ既ニ電信ハ政府ガ專取スルノガ本義デアル、併ナガラ鐵道其他隨分私ニ設ケルコトヲ認メナケレバナラヌト云フ例外ヲ認メマシタ、ツレト軌ヲ一ニシテ考ヘマシタヤウナ譯デ、是ハ窮乏ナト言ヘバ窮乏デアリマスガ、實際ノモノカラ考ヘテ見マス、大概ノ場合ハ是ニ網羅シテ居ル積リデアリマシテ、大シタ窮乏ナコトハナイト考ヘマスガ、此規定以外ニ出デタ場合ハ制裁ハゴザイマス、有線電信ノ場合モ相當ノ制裁ヲ附ケテ居リマス、是ハ一定ノ目的ヲ相當ノ制限ヲ立テマシタ精神カラ、許可ナクシテ設ケルコトカ或ハ目的ノ範圍ヲ脱シテ隨意勝手ニ通信ヲスルト云フ

コトニナリマス、取締リノ上カラ隨分有線電信以上ノ弊害ガ起リマス、有線電信ハ御承知ノ通り針金ガアルト針金ノ兩端ニシカ機械ガナイデアリマスカラ弊害ガ少ナイ、二局カラコラデアリマスガ、無線電信ハ一旦電波ヲ送リマス四方八方、上下左右ニ傳播シテ空中ヲ攪亂シテ、ツレガ爲メニ思ハヌ局ニ非常ナル誤解、非常ナル危險ヲ起ス虞ガアリマスガ、取締ハ有線電信以上ニ必要ガアルデアリマス

○磯部四郎君 取締上ノ制限ト見レバ宜シウゴザイマスガ

○政府委員(田中次郎君) 全クサウデゴザイマス

○藤田四郎君 日清電信、無線電報ト云フノガアリマスナ、アレハ芝罘ナドニ行ケルヤウニ思ヒマスガ、アレハ條約ニナツテ居リマスガ、ドウ云フノデスカ

○政府委員(田中次郎君) アレハ日清電報ハ芝罘ト租借地滿洲關東州、ア、云フ所ニ行ク連絡ヲ保ツダケデアリマス

○藤田四郎君 アチラノ電報ヲコラテ取ツテ居ルノデスカ

○政府委員(田中次郎君) ハイ

○委員長(伯爵奧平昌恭君) 第二條ニ付テハ御質問ハゴザイマセヌカ

〔質問ハアリマセヌト呼フ者アリ〕

○藤田四郎君 第二條ニ付テ承リマス

○委員長(伯爵奧平昌恭君) 政府委員カラ此事ニ付イテ更メテ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(田中次郎君) 「私設ノ無線電信又ハ無線電話ノ機器、其ノ裝置及運用ニ關スル制限竝私設ノ無線電信ノ通信ニ從事スル者ノ資格ハ命令ノ定ムル所ニ依ル」、資格者ニ無線電話ノ方ヲ入レマセナカッタノハ、無線電話ハ普通ノ電話ノ方ニ少シ慣レタナラバ出來ルノデ大シタ資格ヲ要シマセヌ、ツレデ除キマシタ、無線電信ハ技術者ガ皆資格ヲ要スルデアリマス

○藤田四郎君 私モ鳥羽ノ無線電話ハ見マシタガ、素人ニハ分リマセヌデゴザイマスガ、ツレハ御説ノ通り出來ルデゴザイマセウガ、是モ刑罰ニ關係スルコトデアリマスカラ、相當ノ身分ノ人トカ、或ハ年齢ノ上ノ關係トカ、云フヤウナコトハ今ハ餘計ハアリマス、將來ニ於テ起ルモノデアリマス、其時ニ法律ニ於テ第二條ト云フ規定ガアル以上ハ、是モ無ケレバ免モ角、斯ウ云フヤウニ特別ノ御制限ヲ定メラレテ置イテ、將來必要ガ起ツタ時ニ又此以外ニ勅令トカ省令デ御定メニナルコトハ餘リ穩カデナイヤウニ思ヒマスガ……

○政府委員(田中次郎君) 取扱者ガ不法ノコトヲシマスヤウナ場合ハ、實ハ先キノ無線電話ノ場合ニ這入ッテ居リマス、資格者ノ場合ハ別ニ一定ノ……

○藤田四郎君 サウデナイト思ヒマス、例ヘバ罰ガ重イト思ヘバ子供表面ニ出シテ置クトカ何トカ云フコトモ出來ルト思ヒマス、斯ウ云フコトハ要ラナイカ知レマセヌガ、有ッダ方ガ穩カラシク素人ニハ見エマスガ、イヤ是ハ唯申上ゲテ置ケバ宜シイノデス

○委員長(伯爵奧平昌恭君) ツレデハ第四條

○委員長(伯爵奧平昌恭君) ツレデハ第四條

〔第四條ハ分ツテ居リマス〕ト述フル者アリ

○委員長(伯爵奧平昌恭君) ツレデハ第五條

○政府委員(田中次郎君) 第五條ハ主トシテ外國ノ船舶ノ無線電信ヲ付ケタモノニ

付テ規定シタノガ主眼デゴザイマス、外國船舶ヲ日本ノ沿岸ニ參リマス船デ無線電信ヲ付ケタ船ガ大分アリマス、今日ハ戰爭ニ付テ獨逸佛蘭西等ノヤツハ參リマセヌガ、英吉利加奈陀亞米利加等ノヤツデ無線電信ヲ付ケタノガ大分往復シテ居リマス、是等ニ付テハ海岸局トハ通信ヲヤツテ居リマスガ、外國ノ船舶デモ日本ノ領水内ニ這入レバ、大體無線電信ハ使ハセヌト云フノガ原則ニシタイト云フ考デアリマス、外國デモ大概サウ云フヤウニナツテ居ルヤウデアリマス、併シ遭難通信トカ或ハ航海中ニ電報ヲ送受ヤルコトハ是ハ認メナケレバ甚ダシイ不便ヲ感ズルノデ、此所ニ認メタヤウナ次第デアリマス

○磯部四郎君 此第五條ニ付テ……唯今御説明ニ依ツテ了解シマシタガ、第一條ハ先程御説明ノ通り願ツテ出ル方デスネ、五條ノ船舶ハ向ウカラ裝置シテ來ルヤツデスネ、其ノ裝置シテ來タノニ無線電信電話ニ依ツテ、扱御前ハ日本ノ沿海ニ這入ツタ以上ハ、第二條ノ制限以外ニ使フコトハ出來ナイゾト云フ命令デモ發スルノデスカ

○政府委員(田中次郎君) 第二條ノ規定ニ依ツテ……外國船舶ガヤリマスレバ第二條ニ依ツテ取締リマスガ、日本ノ第二條ニ依ラヌデ向フカラ付ケテ來タモノハ……

○磯部四郎君 使用スルコトヲ得ズト云フノデスカラ、許サヌト云フコトニナリマスカ

○政府委員(田中次郎君) サウデアリマス

○藤田四郎君 此條ニ關係ガアルカドウカ知レマセヌガ、外國船舶ト云フノハ大分アルノデスカ、日本ノ官設ノ電信局ハ無論外國船舶ノ出シタ電信ヲ受ケヌト云フコトハアリマス、受ケルカラ差支アリマスマイガ、外國ノ船舶ガワキノ自分ノ仲間ノ船ヘヤルトカ、或ハソトヘ發スル電信トカ云フノハドウナリマスノデセウカ、大體此ノ船舶ノ犯罪ハ國ノ法律ガ違フノデ、英吉利ナリ佛蘭西ナリ、法律其モノガ違フ、港ニ於テノ犯罪デモ船ノ中ノ犯罪デモ、或ハ罰セラルルトカ、罰セラレヌトカ云フ議論ガアルヤウデスカ、ソレ等ノコトハ是ハ關係ハナイデセウカ

○政府委員(田中次郎君) 外國船舶ニ致シマシテモ、此ノ條項ニ違反シテヤレバ無論懲罰ヲ受ケル積リデアリマス、一體刑法其他モサウ云フ主義デアリマスカラ、ソレニ準據シマシタ

○藤田四郎君 今申上ゲマスヤウニ、元々萬國私法ノ間ニ於テ抵觸ガアルノデアリマスカラ、サウ云フ點ニ於テドウナルモノデアラウカ、書イテモ效ガアルカ無イカデス

○政府委員(湯河元臣君) 日本ノ刑事制裁ト、ソレカラ外國ノ刑事制裁ニ……刑法ノ抵觸スルコトガアラウト思ヒマス、サウ云フ場合ガ起レバソレハ、一般ノ刑事制裁ニ一定ノ國際刑法的ノ解釋ガアラウト思ヒマス、要スルニ此ノ法律デハ、日本ノ刑法ガ外國人ヲ處罰シ得ル通りニ、無線電信ノ制裁ガ外國人ノ責任者ヲ罰スルコトガ出來ルト思ヒマス

○藤田四郎君 日本ノ内地ニ向ツテノコトハ出來マセウガ、領水内ニ居ル船ガ、ソトニ向ツテ發スルト云フ場合ニハドウデセウカ

○政府委員(田中次郎君) 外國船舶同士デスネ、ソレハ兩方とも這入ル積リデアリマス

○藤田四郎君 罰スルノデスカ

○政府委員(田中次郎君) 罰スル積リデアリマス

○委員長(伯爵奧平昌恭君) 一般ノ船舶ガ領海内ニ居ルトキハ取締ガ出來マセウガ、領海外ニ入ッタトキハドウ云フコトニナリマスカ

○政府委員(田中次郎君) 領海外ノハ法權以外トナリマスカラ仕様ナカラウト思ヒマス、法權ノ及バヌ所デスカラ……

○委員長(伯爵奧平昌恭君) ソレハサウデス、ソレハサウデスカ、藤田君ノ御質問ノヤウニ一方ノ出シタ船ハ領海内ニ於テ發送シタ、受ケタ方ハ領海外ニ在ル、ソレヲ雙方トモ罰シタクチャナラヌト云ウヤウナ風ニチヨット聽キマシタガ、私ノ聽キヤウガ惡ルカッタデアツタカ、其ノ場合ニ於テ一方ヲ罰シテ他ヲ罰セヌト云フコトニナルト、取締上難義ニナリハセヌカト思ヒマス

○政府委員(田中次郎君) 取締ヲ實行スルニ付テハ色々困難ニ遭著スルト思ヒマス、例ヘバ外國船ガ雙方領海内ニ在シテ五條ニ反シタルノハ處罰シナケレバナラヌト思ヒマスガ、ソレト雖モ之ヲ逮捕監禁スルニ付テハ困難ナ問題デアリマス、實際ニハ困ルコトガアラウト思ヒマス

○藤田四郎君 橫濱……橫濱デナクとも觀音崎カラコッチニ這入レバ日本ノ領海デアリマセウガ、其船ガ二百哩モ沖ノ船カラ電信ヲ受ケタ、難破シタカラ船ヲヨコシテ呉レト云フヤウナ電信ヲ受ケタ……

○政府委員(田中次郎君) ソレハ構ハヌノデス、遭難ニ關スルヤツハ一切宜シイノデス

○藤田四郎君 ハアサウデスカ、船ノ中デ船長ガ刑法ヲ行フノハ普通國ニ依ツテ違ヒマスガ内海ノ犯罪ハ其國ノ法ヲ以テヤルト云フノガ普通デスカラ日本ノ法律デヤツテ適當ダラウトハ思ヒマスガ、實際ニ於テ衝突ヲ起シハシマスマイカ、ドウカト云フノデス、ソレデ宜シケレバ決シテ異存ハナイノデス

○委員長(伯爵奧平昌恭君) ソレデハ第六條カラ先キニ願ヒマスコトニ致シマス……宜シウゴザイマスカ

○藤田四郎君 六條ハ質問ハゴザイマセヌ、七條モナイ、八條ヲ一ツヤツテ戴キタイ

○委員長(伯爵奧平昌恭君) ソレナラバ……

○藤田四郎君 モウ一遍……我々出タ者デケ進行シテ置カウト云フノデスカラ、モウ一遍逐條ヲアレテモ異存ゴザイマセヌ、アト二人來ナイノデスカラ

○委員長(伯爵奧平昌恭君) ソレデハ今日ハ便宜上三條或ハ四條グラ井ツツ束ネテ、法文中中デ分ラヌ所ヲ御質問ニナルヤウニシテハ如何デス

○政府委員(田中次郎君) 八條ヲ申上ゲマセウカ

○藤田四郎君 八條ノ外國船舶ヲ説明シテ戴キタイ

○政府委員(田中次郎君) 八條ハ公安ノ必要ヲ認ムルトキハ私設ノ無線電信、無一時のノコトデアラウト思ヒマスガ、「公安ノ必要ヲ認ムルトキハ私設ノ無線電信、無線電話又ハ外國船舶ニ裝置シタルモノ」外國船舶ニシテモ其使用ヲ一時制限スル場合デス、或ハ一時止メサセラル、又ハ其機械附屬具等ヲ一時除ケサセラル、是ハ謂ハユル公安ノ爲ニ強制命令デスデケノ權能ヲ留保シテ置クコトニシナイト、或ハ戰時其他ノ場合ニ於テ隨分迷惑ヲ感ズル場合ガアラウト思ヒマスノデス、無線電信ニ於ケル電報ノ區域其

他ノ制限ヲ設ケマシタト同趣旨アリマシタ、ソレカラ又此第二項ニ於キマシテ「前項ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ主務大臣ハ當該官吏ヲシテ機器附屬具ニ封印ヲ施シ又ハ之ヲ除却セシムルコトヲ得、是ハ命令ヲ致シマス方ガ宜イ場合モアルシ、或ハ必要ニ依テハ直チニ命令ヲ傳ヘルヨリハ寧ロ技術家乃至當該吏員ガ行ッテ封印ヲ施シタリ、機械ヲ自カラ手ヲ下シテ除却スル方ガ早イ、或ハ確實デアラウト云フ考ノ場合ガアラウト思ヒマスカラ、ソレ等ニ備ヘンガ爲ニ第二項ヲ置イタヤウナ次第デゴザイマス、隨分陸海軍ナドデハ或ハ斯ウ云フ必要モアラウト思ヒマス、又桑港アタリヘ行キマシタ日本ノ船舶デモ、封印ヲ施サレタ例モ度々アルノデゴザイマス、國家保安ノ爲ニ必要ナル權能ヲ保留シテ置クト云フノデス

○磯部四郎君 此所ノ外國船舶ニ裝置シタルト云フノハ、二條ノ規定ニ從ッテ裝置シタ電信電話デアリマセウネ

○政府委員(田中次郎君) 二條ノヤツハ……

○磯部四郎君 所ガ私ノ聞クノハ五條ニ依ッテ、二條ノ規定ニ依ラズシテ施設シタモノナラ、初メカラ使用スルコトガ出來ナイノデスカラ、使用スルコトガ出來ナイモノニ、尙ホ制限、停止、若クハ云々トイフコトヲ命ズル必要ハナイヤウニ思ハレルデス

○政府委員(田中次郎君) 外國船舶ニシマシテ同ジク第二條ニ依リマシタノハ、前段ノ私設ノ無線電信電話ニ包含シテ居リマス、其以外ノ外國船舶ニシマシテモ、航海中ハ通信ガ出來ルノデスカラ、相當ノ程度マデハ外國船舶ノ通信ヲ認メテ居リマスカラ、矢張りソレニ對シマシテモ船舶ガ沿岸ヲ通ルトキハ使用ヲ止メト云ハナケレバナラヌヤウナ場合モアラウト思ヒマス

○磯部四郎君 第八條ノヤツハ二條ノ規定以外ニ裝置シタモノト見テ宜シイノデスネ

○政府委員(田中次郎君) サウデス

○藤田四郎君 九條ハ質問ハゴザイマセヌ、十條ノ無線電信又ハ無線電話ノ許可ト云フノハ、電話ノ許可ト云ッテ是デ宜シイノデスカネ、私設ノ電話ト合フノデスカ、是デ文章ハ……

○政府委員(田中次郎君) 其積リテ居リマス

○藤田四郎君 少シ何ダカ分リ惡クイ

○政府委員(田中次郎君) 「其ノ」ト云フノデ實ハ別ケテ行キタイノデス

○藤田四郎君 宜ケレバ……ソレデゴザイマセヌ

○委員長(伯爵奧平昌恭君) 十一條、十二條ニ付イテゴザイマス

○磯部四郎君 議論ゴザイマセヌ

○委員長(伯爵奧平昌恭君) 私カラチヨット承ッテ置キマス、十二條ノ「前項ノ場合ニ於テ特定ノ事項ノ通報ヲ求メラレタルトキ」ト云フ、是ハドウ云フコトヲ意味シテ居ルノデスカ

○政府委員(田中次郎君) 前段ニ第一項ニ書キマシタノハ「救助上最便宜ノ位置ニ在ル無線電信又ハ無線電話ニ通報スヘシ」ト申シマスカラ、必ズシモ發信者ガ指定シタル通りニシナクテモ、自分ガ受ケタル場合ニ最モ便宜ナリト云フ所ヘヤレバ宜イ、ソレダケデハ郵船會社ノ本店ニヤッテ吳レトカ、或ハ香港支店ニ是非打ッテ吳レト云フヤウナ注文

ノアル場合ニハ、最モ便宜ノ位置ニ在ル場合ニヤリサヘスレバ宜イト云フダケデハ不完全デハナイカ、特定ノ指定シタル事項デアレバ扱ッテヤルコトニシヤウト云フ意味デス

○藤田四郎君 外國船舶ト云フノハ領水内ノコトデセウナ

○政府委員(田中次郎君) はい、サウデス

○委員長(伯爵奧平昌恭君) サウシマスルト、十三條、十四條ニ付キマシテ御質問ガゴザイマス

○磯部四郎君 是ハ別段ニ分ラヌコトハナイヤウデス

○藤田四郎君 不法ト云フコトニ書イデアルノハ許可ヲ得ズニト云フノデスカ、モウ少シ重イノデスカ、罰ノ關係デ斯ウ云フ書キ方ガ必要ナンデスカ

○政府委員(田中次郎君) 許可ヲ受ケナイ場合、條件等ノ外レタ場合モ含ミマス、許可ヲ受ケヌ場合ヨリモ少シ廣イノデス

○藤田四郎君 廣イノデスカ、重イノデスカ

○政府委員(田中次郎君) 廣ク考ヘテ居リマスカラ重イト云ヘバ重イ方ナンデスナ

○委員長(伯爵奧平昌恭君) チヨット私ハ十四條ニ付イテ質問イタシタイノデスカ、其前ニ若シ磯部サン何カ御質問ガゴザイマスレバ十二條ニ……

○磯部四郎君 別ニゴザイマセヌ

○委員長(伯爵奧平昌恭君) 十四條ノ中ニ「特殊ノ供給又ハ設備ヲ命スルコトヲ得」ト斯ウナッテ居リマス、特殊ノ供給ト云フコトハドウ云フ風ナコトデスナ

○政府委員(田中次郎君) 特殊ノ供給ト云フト、矢張り無線電信ニ對シテ特殊ノ例ヘバ電力ヲ供給セシメマストカ、或ハ「アンテナ」ヲ作ルヤウニ致シマストカ、サウ云フヤウナ供給ヲサセタイ積リデゴザイマス

○委員長(伯爵奧平昌恭君) 是ハ何デゴザイマス、金錢上ノ供給トカ云フヤウナ意味ハ此中ニハ這入ラヌノデスカ

○政府委員(田中次郎君) 金錢上ノ關係ハ這入ッテ居ナイ積リデス

○委員長(伯爵奧平昌恭君) サウデゴザイマス……宜シウゴザイマス

○磯部四郎君 宜シウゴザイマス

○藤田四郎君 十五條モゴザイマセヌ

○委員長(伯爵奧平昌恭君) アリマセヌカ……ソレデハ十六條

○藤田四郎君 此十三條ノヤウナ場合ハ十六條ニ這入リマスノデスカ、ドウ云フノデスカ

○政府委員(田中次郎君) 申上ゲマスガ、十三條ノ場合ト言ヒマスト、十三條ノ場合ニハ唯今申シマスヤウニ許可ヲ受ケザル場合ト、ソレカラ尙ホ其外ニ第二條ニ違反シタ者ハ不法ト云フコトニ含ミマスガ、第十六條ニハ詰リ許可ヲ得ズシテヤッタ者ダケデアリマスカラ、自然此ノ十三條ノ一部分ガ這入ル譯ニナリマス

○藤田四郎君 電信法ハドウデスカ、此場合ハ……

○政府委員(田中次郎君) 電信法ハ權利ナクシテ書イデアリマス、此有線電信法ニ、權利ナクシテト云フコトハ、矢張り許可ナクシテト云フコトデ……

○藤田四郎君 罰ノ割合ハドウデアリマスカ

○政府委員(田邊治通君) 有線電信法ニ罰ノ割合ハ五圓以上百圓以下ト云フ罰金刑丈ケニナッテ居リマス、是ハ矢張り無線電信ノ性能トシテ随分濫用ノ結果、非常ナル弊害ガ伴ナウ、斯ウ云フコトカラ許可ヲ得ズシタル者ハ是非體刑ヲ加ヘテ、最高限ヲ重クシテ置カウ、勿論各犯罪ノ各種ノ場合ニ於キマシテハ各種ノ状況モアリマスノデ罰金刑丈ケデハ足ラヌ、随分情ノ重イ者ハ體刑迄イカヌト通信ヲ濫用シタル者ノ取締ガ附カヌ、斯ウ云フ考カラ體刑モ加ヘマシタ

○政府委員(田中次郎君) 罰則ニ付キマシテ一寸一言申上ゲテ置キタイト思ヒマスガ、是カラ刑罰規程ニ這入リマシテ刑罰ヲ盛ツテ置キマシタガ大體ノ刑罰ハ御覽ニナリマス通リ、電信法等ニ依リ之ヲ參酌シマシタノデアリマス、電信法ガ出來マシタ頃ハ、實ハ刑法ハ舊刑法デアリマシタ場合デ、舊刑法ノ刑罰ノ盛リヤウヲ主眼ニシテ、又刑法ト相對照シテ、電信法ガ出來テ居リマシタガ、今日ニナリマス新刑法ガ出來マシタノデ、刑罰ノ刑ヲ盛リ様ガ舊刑法ト随分違ヒマス、詰リ刑ノ適用ノ範圍ヲ廣クシテ自由裁量ニ委セタヤウナ關係カラ、本法ヲ編ミマスニモ新刑法ヲ大分參酌イタシマシテ、又一面ニハ現在ノ有線電信法モ考量シマシテ、ソレ等ノ間ヲ相當ニ參酌シマシテ刑罰ヲ掛ケマシタ、司法省アタリノ立法ニ通シタル者ト色々打合セマシテ大分之ヲ練リマシタノデアリマス、大體ガ電信法ヨリモ重クナリマシタノハ新刑法トノ關係カラナッタルデアリマス、尙又御質問ガアリマスレバ申上ゲマス

○磯部四郎君 十七、十八、十九ハ殆ド意味ハ分ッテ居リマスカラ、別ニモウ説明ハ入ラヌヤウデアリマスガ如何デアリマス

○藤田四郎君 十九條ノ「船舶ノ使用ヲ拒ミ」ト云フノハドウ云フコトデアリマスカ

○政府委員(田中次郎君) 是ハ前ノ十四條ニ船舶ノ一部ノ使用ヲ命ズルコトガアルト云フコト書イテ置キマシタ、即チソレニ對應シマシテ、例ヘバ船舶ノ甲板ノ上ニ無線電信ヲ置キタイト云フヤウナ場合ニハ船舶自體デアリマセヌガ、詰リ船舶ノ一部ト云フコトニナリマス

○藤田四郎君 十四條ノ一部デアリマスカ、是ハ船舶ノ使用トアリマスガソレデ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(田中次郎君) 詰リ第十四條ノ場合ニ於テ「ト書イデアリマス」ノデ、宜カラウト考ヘテ居リマス

○磯部四郎君 ソレカラ此ノ二十條ニ之ヲ報告罪ニサレタノハドウ云フ理由デアリマスカ

○政府委員(田中次郎君) 此秘密ヲ犯シタ場合或ハ秘密ヲ漏泄シタ場合ハ、刑法ニ於キマシテモ電信法ニ於キマシテモ報告罪ニナッテ居リマス

○磯部四郎君 分リマシタ、刑法ニ合セタノデアリマスネ

○政府委員(田中次郎君) 左様デアリマス

○藤田四郎君 二十一條ノ不法ト云フ場合デアリマス、是ハ電信法ニモアルト云フコトデアリマスガ、ドンナ場合デアリマスカ

○政府委員(田中次郎君) 電信法ニハ不正ノ手段ヲ以テト云フコトニ書イデアリマス

ガ、大體同一ノ意味デアリマシテ、多クハ部外ノ人ハ第一項ニ入リマス、官報トシテ出ス資格ノナイ人が官報トシテ出ストカ、無料局報ノ資格ノナイ者ガ無料局報トシテ出ストカ、或ハ一旦使用シタル切手ヲ再ビ使ッテ電報ヲ出シタト云フヤウナ場合ガ澤山アリマス

○藤田四郎君 分リマシタ、二十一條ノ第二項ノ如キ無線電話ハ先刻御尋ネシタ第十三條トハ事ガ違ヒマスガ、アチラノ方デハ資格杯ハ少シモ定メズニ置イテ二十一條、十七條デアリマスカ、十八條デアリマスカ、矢張り電話ニ從事スル人ノ使用制限杯ヲ置クノデアリマスカラ、採用スルトキニハ何カアル方ガ宜サソウニ思フ

○政府委員(田中次郎君) 更ニ研究シテ見マセウト思ヒマスガ、最初法ニ書キマシタ趣旨ハ別ニ技術ハ入ラヌ、未成年者、サウ云フ附屬ノ者ハ刑法ノ一般ノ規則ニ依ルト云フ考デアリマシタ

○磯部四郎君 二十一條ノ今ノ御説明ニ依テ見マスト例ヘバ偽造ノモノヲ貼リ附ケタトカ、既ニ貼用シタ印紙ヲ又用ヒタト云フヤウナ場合ニ無線電話ニ關スル料金ヲ免レ或ハ之ヲ免レシムルト云フ場合ガ出テ來マセウガ、ソレハ詰リ普通刑法ノ印紙偽造トカ或ハ再貼用トカ云フ方デ罰セラレルモノガアルノデスカ

○政府委員(田邊治通君) サウデアリマス、若シ偽造シタリ變造シタ場合ニハウチラノ方ニ行キマス

○磯部四郎君 電報電話デ嘘ヲ知ラセタノハ重イ方デ罰スル、サウ云フコトヲ出シテ置カヌデモ宜イノデスカ

○政府委員(田邊治通君) ソレハ刑法ノ一般ノ總則ノ規程ニ依ルノデス

○委員長(伯曾與平昌恭君) 二十一條ニ付テ御質問ガアリマセヌカ、二十二條、二十三條ハ宜シウゴザイマスカ……私ハ二十三條ニ付テ御尋ネシタイノデアリマスガ二十三條ノ中デ「又ハ受取人ニ非サル者ニ交付シタルトキハ」トナッテ居リマス、是ハ故意ニ受取人ニ非ザル者ニ交付スルト云フ意味デアラウト思フ、ドウモ電報電信等ニ付テハ假名デ以テ書イテ來タリスルノデ、間違ガ起リ易クハ無イカト思ヒマスガ如何デアリマス、斯ウ云フ風ニシテ置イタナラバ、随分錯誤デ無クシテ罰セラレル者ヨリモ、間違デ罰セラレル人ガ多クナリハシナイカ

○政府委員(田中次郎君) 唯今ノ御疑ハ御尤モデアリマスガ、受取人ニアラザル者ニ交付スル場合モ電信法等特別ナ場合ニ入レナイデ、命令ノ定ムル所ニ據レバヤリ得ル場合ガアリマス、サウ云フ場合ハ勿論含ミマセヌガ、御話ノヤウナ假名デ書イテ行ク時ニハ動モスルト同姓名トカ何トカ間違ッテ行クコトガアリマス、サウ云フノハ實ハ包含サセヌ積リデアリマス、唯今御話ノヤウナ所謂此處デ他人デアアルコトヲ知リナガラヤッタト云フ積リデアリマス

○藤田四郎君 ソレデヤ序デ……受取人ト云フノハ電信法ノ言葉デスナ、受信人トカ、受信者トカアリマスナ

○政府委員(田中次郎君) 電信法三十五條ニ載ッテ居リマス、文句ニ「放棄シタル者又ハ受取人ニ非サル者」トアリマス

○藤田四郎君 二十六條デアリマス

- 委員長(伯爵奧平昌恭君) 二十四條、二十五條ハ宜シウゴザイマスカ
○藤田四郎君 今日ハ宜シイ……二十六條「未遂罪ハ之ヲ罰ス」デアリマスガ、實際
斯ウ云フコトガ出來ルヤウニナリ得ルモノデアリマスカ
○政府委員(田中次郎君) 未遂ニ適用スル場合ニナルト、或ハ法ヲ執ル裁判官ノ眼
カラ見マス、問題ニナルコトモ有リハセヌカト思ヒマス、或ハ不作爲ノ未遂犯ニナルト殆
ト想像ガ附カヌ位デアリマス、刑法學者モ隨分議論ガアリマス、併シ十條ニ掲ゲマシタノ
ハ大部分未遂犯ガ成立チ得ル見込デ研究イタシマシタ
○藤田四郎君 却ッテ斯ウ云フノハ外ノ法律デ未遂罪ヲ罰スルヤウニナッテ居リマス
○政府委員(田中次郎君) 是モナッテ居リマス
○委員長(伯爵奧平昌恭君) 二十七條……
○藤田四郎君 私ハ質問ハ今日致シマセヌ
○委員長(伯爵奧平昌恭君) サウスルト皆サン、此二十六條以下ノ處御質問ゴザイ
マセヌカ
○磯部四郎君 ゴザイマセヌ
○委員長(伯爵奧平昌恭君) 今日ハ委員會ハ是デ止メテ置キマス、又明日……
午前十一時五十分散會

出席者左ノ如シ

- | | | | |
|------|----------------|----------------|----------|
| 委員長 | 伯爵奧平 昌恭君 | 副委員長 | 男爵有地品之允君 |
| 委員 | 侯爵中御門經恭君 | 兼行君 | 藤田 四郎君 |
| | 磯部 四郎君 | | |
| 國務大臣 | 遞信大臣 武富 時敏君 | | |
| 政府委員 | 遞信次官 湯河 元臣君 | 遞信省通信局長 田中 次郎君 | |
| | 遞信省電氣局長 棟居喜九馬君 | 遞信書記官 田邊 治通君 | |
| 説明員 | 遞信技師 佐伯美津留君 | | |